



Q2 最終学年の1年間をどのように戦っていききたいですか？

同じ市立船橋高校から明治大学に進んだ先輩方に、和泉竜司さん（2016年政経卒・名古屋グランパス）と小出悠太さん（2017年政経卒・ヴァンフォーレ甲府）がいらっしやいます。理由のひとつにはその二人と一緒にサッカーをしたいという思いがあって、練習に参加させてもらった、大学の話を聞いていました。プロ入りも考えにありましたが、大学を経て、人として成長する必要があると感じていました。そこで、明治大学の「個」を強くするというところに強く惹かれたので進学を決めました。

Q1 明治大学に入学されたきっかけは？

同じ市立船橋高校から明治大学に進んだ先輩方に、和泉竜司さん（2016年政経卒・名古屋グランパス）と小出悠太さん（2017年政経卒・ヴァンフォーレ甲府）がいらっしやいます。理由のひとつにはその二人と一緒にサッカーをしたいという思いがあって、練習に参加させてもらった、大学の話を聞いていました。プロ入りも考えにありましたが、大学を経て、人として成長する必要があると感じていました。そこで、明治大学の「個」を強くするというところに強く惹かれたので進学を決めました。

Q3 一丸となるために、どのような役割を求められていると思いますか？

副主将ということもありますし、2年の頃から試合に出してもらっていますので、ピッチ内での鼓舞や指示の出しはもっとやっていきたいです。自分の強みである守備の局面では、誰よりも背中を見せていかなければならないと思っています。ピッチ外では、常に後輩や周りのことを気にかけていますね。

Q4 卒業後の夢や目標をお聞かせください

まずは、浦和レッズでスタメンになることです。その先の目標として、日本代表に入りたいです。代表選手がたくさん所属しているチームで試合に出られれば、それが日本代表にも近づく道だと思っています。多くの選手と競争になると思いますが、そこでレギュラーを掴みとることができたら、これまで感じたことのない喜びがあると思います。貪欲にチャレンジしていきたいです。

Q5 普段支えてくれるご家族に何かメッセージはありますか？

普段は照れくさくて言えないのですが、「感謝」の一言に尽きます。サッカーをはじめたきっかけも兄でしたし、ここまで続けてこられたのも家族のおかげだと思っています。高校から寮生活だったので一緒にいる時間も少ないのですが、両親がいつも気にかけてくれているのを感じています。レッズへの内定をいただいて喜んでくれましたが、入ってからが本当の勝負だと思っています。プロの厳しい世界で自分が活躍する姿を見せて、もっと恩返ししていきたいです。

PROFILE

体育会サッカー部

1921年創設。Jリーガーや指導者などを多数輩出する名門クラブ。昨シーズンは総理大臣杯で初優勝、関東大学サッカーリーグ(1部)では史上最速優勝を果たし、二冠を達成した。2017年度はチームスローガンに『一進』を掲げ、明大史上初となるインカレ優勝を含めた三冠を目指す。
ホームページ <http://meidaisoccer.jp/> Twitter <http://twitter.com/meidaisoccer>



前へ! Vol.4 明大アスリート



体育会サッカー部

柴戸 海

Kai Shibato

政治経済学部4年
(市立船橋高校出身)
身長180cm、体重70kg
ポジション:DF

紫紺の旗の下に集まった若きアスリートを紹介する、「前へ! 明大アスリート」。第4回は、サッカー部中盤の主力として、2年次からレギュラーポジションでチームを牽引する柴戸海選手を紹介する。副主将としてラストシーズンを迎えた2017年5月には、早くもJ1「浦和レッズ」への来季加入内定が発表されるなど、今後の活躍にも注目が集まっている。